

群馬県立前橋西高等学校 学校評価一覧表 ① (平成31年度(令和元年度)版) (様式1)

羅 針 盤			方 策	第1回点検・評価			第2回点検・評価				
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策		
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	・習熟度別の履修形態(数学)に、生徒の80%以上が満足している。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態に応じ、主体的・対話的で深い学びの授業への転換を進め、学習意欲を喚起する。 少人数による授業により、双方向的できめ細かな学習指導を実施し、学習内容の十分な定着を図る。 「強歩遠足」、「球技大会」、「芸術教室」、「マラソン大会」等の行事、部活動や委員会活動を充実し、生徒が活躍する場所をつくる。国際科についてはくり募集による入学生に対応して行事を工夫する。 	A	A	・数学、英語、体育ともに、習熟度別授業、少人数授業に高い評価を受けており、引き続き主体的・対話的で深い学びの授業への転換を進めていく。	A	A	・数学、英語、体育ともに、習熟度別授業、少人数授業に対し、90%以上の高い評価を受けることができた。来年度も現在の授業形態を続けて行く。		
		・「特色ある学校行事」に、生徒の80%以上が満足している。		・「強歩遠足」、「球技大会」、「芸術教室」、「マラソン大会」等の行事、部活動や委員会活動を充実し、生徒が活躍する場所をつくる。国際科についてはくり募集による入学生に対応して行事を工夫する。	A	A	・きわめて高い評価を受けているので、今後も学校行事を充実・改善していく。	A	A	・「積極的に取り組んだ」が90%以上と高い評価であったが、さらに内容を充実させていく。	
		・自分の学校が好きだと感じている生徒が80%以上である。		・校内研修を充実させ、授業アンケートを授業の改善に生かす。	B	B	・進路実績や部活動実績による愛校心の醸成や明るい学校の雰囲気作りなど学校全体で取り組んでいく。	B	B	・授業改善等を通して、楽しく、充実した学校生活作りを努める。	
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	・「授業が分かりやすい」と、生徒の70%以上が答えている。	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修を充実させ、授業アンケートを授業の改善に生かす。 ICTの活用やアクティブラーニングにより主体的対話的な学びの授業を行う。 	B	B	・ステップアップサポート事業を有効に活用し、教科横断的な研究授業、授業研究会を実施するとともに、個々の教員が授業アンケート、校長の授業参観をもとに授業改善を図っていく。	B	B	・教員の一方通行的な講義型授業を改め、生徒を能動的に活動させる授業への脱却を目指していく。		
		・進路実現に向けた学習指導に、生徒の70%以上が満足している。		・土曜課外授業・進学課外を充実し、生徒の意欲を喚起するとともに、一層の学力向上を図る。	A	A	・通常の授業では基礎基本を大事に、課外授業では、模試過去問等を用いてより実践的に学力向上を目指す。	A	A	・土曜課外授業、平日進学課外参加者からは77%好評価であった。具体的内容を提示し、参加生徒増加を目指す。	
		・計画的に学習をしている生徒が70%以上である。		・各教科で予習や課題の指示を明確に行い、家庭で学習に取り組むことの習慣化を図り、特に休日の学習時間の増加に取り組む。	C	C	・定期テスト前2週間、家庭学習計画を立て、それを記録・チェックし、習慣化を図る。	C	C	・定期テスト前に学習時間記録をつけ、担任とのやりとりを行ってきた。習慣化に向けて粘り強く明確な課題等を出す。	
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	・学習内容の定着を図り、家庭での学習時間は「学年+1」時間以上である。	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育の充実に務め、進路の実現を念頭に学習意欲を高めて、生徒が自ら学習に取り組むように、進路講演会やLHRを活用していく。 各教科で工夫した探究的な学習課題を課し、家庭学習時間の増加を図る。 家庭と連絡を取り成績不振者の特別指導を、定期テスト前に実施する。 英語においては、大学入学共通テストを念頭において、特別な指導を実施する。 	C	C	・進路実現に向けて、個々の生徒が学力や学習習慣の必要性を認識できるような働きかけ(進路講演会や総合的な学習)を継続的に行う。	C	C	・家庭での学習時間「学年+1時間」に関しては、1年生37%、2年生10%、3年生7%と伸びなかった。		
		・単位未修得者は、生徒の5%以下である。		・予習・復習や具体的な課外を課し、家庭学習の習慣化を図る。	A	—	・成績不振者に対し、担任・教科担任を中心に継続して丁寧な指導を実施する。	A	—	・まずは「毎日の家庭学習時間0撲滅」を目指し、各教科で具体的な学習を示し、チェックしていく。	
		・漢字検定2級合格者10名以上、英検2級合格者が10名以上である。		・家庭と連絡を取り成績不振者の特別指導を、定期テスト前に実施する。	C	—	・授業やクラスで英検やGTEC、漢検への取組を強化する。	C	—	・漢検2級合格者を増やせるように、授業でも対策を図る。	
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	・生徒指導に関する校則を、生徒及び保護者の80%以上が理解し、納得した学校生活を送っている。	<ul style="list-style-type: none"> 集会時や配布物等を通じて、生徒指導方針の理解と内容の周知を図り、SNS利用ルールの徹底などネット関係の規範意識の育成を推進する。 いじめ問題は早期対応が図れるよう、観察と情報収集を適宜行う。いじめの解消については丁寧に慎重に行っていく。またスクールカウンセラーを活用した教育相談の充実を図る。 部活動の活性化に向けて、中心となる生徒を勧誘し育てるとともに、活動内容や指導方法などの改善に取り組む。 	A	A	・生徒指導全般については、職員共通理解のもとで進めているが、ネット関係の指導体制は、状況を確認し指導方法を確立していく。	A	A	・生徒指導全般については、職員共通理解のもとで進めているが、ネット関係の指導体制は、状況を確認して指導方法を確立していく。		
		・学校は、いじめの発生防止及び早期発見に向けた取り組みを積極的に行っているとして生徒及び保護者の80%が理解し満足している。		・いじめ問題は早期対応が図れるよう、観察と情報収集を適宜行う。いじめの解消については丁寧に慎重に行っていく。またスクールカウンセラーを活用した教育相談の充実を図る。	B	B	・いじめ問題は早期対応を図り、日頃の観察や学校生活アンケート、学年会議等を活用して情報収集を行う。欠席の続いた生徒には保護者との連携を密にし、必要に応じて家庭訪問やスクールカウンセラーとの面談を行う。	B	B	・いじめ問題は早期対応が図れるよう、観察と情報収集を進める。欠席がちな生徒に対しては、スクールカウンセラー等と連携し、相談活動を効果的に進める。	
		・部活動に、生徒の60%以上が積極的に取り組み、継続的に活動をしている。		・部活動の活性化に向けて、中心となる生徒を勧誘し育てるとともに、活動内容や指導方法などの改善に取り組む。	A	A	・部活動の活性化に向けて、中心となる生徒を勧誘し育てるとともに、活動内容や指導方法などの改善に取り組む。	A	B	・活動時間を絞りながら、部活動の活性化に向けて、活動内容や指導方法の改善に取り組んでいく。	
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	・欠席率、平均遅刻者数について、前年度以下とする。	<ul style="list-style-type: none"> 欠席、遅刻、早退の防止に向けて、生活指導の推進と保護者との連携の強化を図る。 疾病や事故の防止についての指導を充実させるとともに、心の悩みを抱える生徒も見られるので、スクールカウンセラーや外部機関との連携により指導の強化を図る。 	C	—	・特定の生徒の遅刻を減らすため、生徒指導部、学年、担任、保護者が連携して規範意識を身につけさせる。	C	—	・欠席率、遅刻者数ともに増加傾向にある。担任だけの負担にせず、学校全体で防止の雰囲気作りを努める。		
		・健康に留意した規則正しい生活を、80%以上の生徒が送っている。		・疾病や事故の防止についての指導を充実させるとともに、心の悩みを抱える生徒も見られるので、スクールカウンセラーや外部機関との連携により指導の強化を図る。	A	A	・「保健だより」等を通して健康の大切さを伝えるとともに、心の悩みを抱える生徒には、スクールカウンセラーや外部機関との連携により指導の強化を図る。	A	A	・多くの生徒は規則正しい生活ができている。心の悩みを抱える生徒には、スクールカウンセラーや外部機関との連携をとり、対応していく。	
		6 計画的な指導を行っていますか。		・総合学習の時間において探究的な学習活動を行いキャリア意識を養うとともに生徒の自己理解を段階的に深める指導に取り組む。	A	B	・現時点での実施内容や課題、反省点を集約した後に学年で協議し、改善を検討し、より一層の効果的な指導を行う。	A	A	・今年度の実施結果や課題、反省点を集約し改善を図り、より一層の効果的な指導を行う。	
VI 安全管理に努めていますか。	7 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	・幅広い視点から進路選択し、前向きに取り組んでいる生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> 高大連携やインターンシップを通じキャリアステップサポートの充実を図る。 二者面談等の個人面談の機会を通じて、模擬試験や進路適性検査の内容や成果を適切に分析し指導を行う。 	C	C	・短期・中期の目標を設定させ、その実現のためにより具体的な学習計画を立てるように指導する。また、1・2年生へも、大学、オープンキャンパス情報を流し、進路を考えられるようにする。	C	B	・進路選択に関わる講演会、大学見学、進路ガイダンス等に、真剣に取り組む生徒が多かった。		
		8 適切な進路情報を提供していますか。		・学校からの情報発信手段としてホームページを充実させるとともに、保護者への連絡や情報提供のために、G S Nメールをより一層活用し、進路情報が保護者・生徒に行き渡るようにする。	B	B	・ホームページの充実を図り、学校から発信する情報を確に提供できるように、改善や工夫を続ける。保護者への連絡がスムーズに行えるよう、G S Nメールを積極的に活用する。	B	B	・紙媒体が保護者に届かないこともあるが、ホームページは定期的に更新し、進路通信なども掲載しているため、情報を見ることが出来る。今後もG S Nメールも活用し、情報発信していく。	
		9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。		・ホームページの充実と更新に努め、年間100,000ページビューを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> 新入生保護者説明会、PTA入会式などの高校生活スタートの機会に、PTA総会への参加の重要性を伝え、教育の基本となる連携の大切さを、ひたむきをお願いしていく。また当日には授業参観・生徒発表・進路講演会・学校評価説明会などを催す。 保護者の協力を得て校外での学校行事などの充実が図れるよう工夫していく。 清里地区の育成会行事や棟東村との英語教育連携事業に協力する。 	A	B	・多くの保護者がホームページを見ているので、さらに学校、学年、部活動等に関係した案内・情報を積極的に発信していく。	A	B	・ホームページで学校の様子を今後とも定期的に発信し、さらに魅力ある学校生活の様子を保護者や生徒、中学生に提供していく。
VII 安全管理に努めていますか。	10 施設設備の安全管理は、十分になされていますか。	・安全点検が日常的になされており、校内に危険な箇所、危険な物品等について90%以上が改善されている。	<ul style="list-style-type: none"> 安全点検を毎月1回実施し、生徒、保護者アンケートの中で危険を指摘される問題点等については速やかに解決する。 日常的な安全教育と登校時指導等により事故防止の強化を図る。また危機管理について、全職員の共通理解を図り進めていく。 交通安全教室、非行防止教室、防火避難訓練等の内容を吟味し一層充実させる。 	B	B	・危険と指摘された場所については点検し、改善が必要な場合には十分に検討し、善処していく。	B	A	・日常の点検を重視し、改善が必要な場合には早急に検討、善処していく。		
		11 生徒の安全指導・安全確保が十分になされていますか。		・交通安全教育とマナーを遵守し、交通事故防止について、生徒の80%以上が主体的に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室、非行防止教室、防火避難訓練等の内容を吟味し一層充実させる。 	A	A	・事故防止の強化を図る。危機管理について、全職員の共通理解を図り、意識向上に努める。	B	A	・事故防止の強化を図る。危機管理について、全職員の共通理解を図り、意識向上に努める。
		・健康安全に関する講話を80%以上の生徒が理解している。		・交通安全教室、非行防止教室、防火避難訓練等の内容を吟味し一層充実させる。	B	B	・講話、講習会等については、内容を吟味し、一層充実させていく。	B	B	・保健委員の活動により、生徒自らが健康管理について意識できるようにする。	